

平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エスプール
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-3517-6633

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	2,600	1.9	59	149.5	52	201.5	44	685.6
24年11月期第2四半期	2,551	△13.1	23	367.9	17	—	5	△86.2

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 44百万円 (696.3%) 24年11月期第2四半期 5百万円 (△86.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	17.08	—
24年11月期第2四半期	2.17	—

(注) 当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。なお、平成24年11月期第2四半期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第2四半期	1,374	187	13.6
24年11月期	1,291	143	11.0

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 187百万円 24年11月期 142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,262	6.5	80	65.8	66	124.8	50	—	19.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：有
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期2Q	2,583,400 株	24年11月期	2,583,400 株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	— 株	24年11月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期2Q	2,583,400 株	24年11月期2Q	2,583,400 株

(注)当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。なお、平成24年11月期の期末発行済株式数及び平成24年11月期第2四半期の期中平均株式数は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
- ・平成25年7月5日(金).....アナリスト向け決算説明会
- ・上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新政権発足後の円高修正の流れや、デフレ脱却に向けた様々な経済政策、日銀による異次元金融緩和が打ち出されたこと等により、企業収益環境が徐々に改善してきております。中国や欧州の景気減退懸念等の不安材料は依然として存在しておりますが、国内景気は持ち直しの動きが続いております。雇用情勢についても、このような国内景気の緩やかな回復を背景に改善傾向にあり、厚生労働省が発表した平成25年5月の有効求人倍率は0.90倍で、平成20年6月以来の高水準となっております。

このような環境の下、当社グループは、事業拡大に向けた様々な施策を行って参りました。中でも、ビジネスソリューション事業の障がい者雇用支援サービスは、障がい者の法定雇用率が引き上げられたこと等により、企業の障がい者雇用に対する意識が高まっており、計画を上回る売上を達成することができました。一方、人材ソリューション事業においては、好調な人材派遣サービスの需要に対応するため、東京都内の採用拠点を従来の1拠点から4拠点に増やし採用力の強化に努めて参りました。しかし、採用市場における逼迫感は強く、また、職種によっては競合他社との競争が激しく、稼働数はほぼ前年同期並みとなりました。

損益面においては、売上の増加に加え、ビジネスソリューション事業及び人材ソリューション事業の両事業セグメントの売上総利益率が改善したため、積極的拡大のための人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加を補うことができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,600,669千円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は59,687千円（前年同四半期比149.5%増）、経常利益は52,890千円（前年同四半期比201.5%増）、四半期純利益は44,129千円（前年同四半期比685.6%増）と、増収増益を達成することができました。

平成25年11月期 第2四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成24年11月期 第2四半期	平成25年11月期 第2四半期	増減率
売上高	2,551,544	2,600,669	1.9%
営業利益	23,927	59,687	149.5%
経常利益	17,540	52,890	201.5%
四半期純利益	5,617	44,129	685.6%

当第2四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールにてロジスティクスアウトソーシング、キャンペーンアウトソーシング等のサービスを、また、株式会社エスプールプラス（旧株式会社わーくはぴねす農園）にて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、障がい者雇用支援サービスにおいて展開している農園への参入件数が大幅に増加しました。ロジスティクスアウトソーシング、キャンペーンアウトソーシングの売上についてはほぼ前年同四半期並みに推移しました。一方、損益面においては、相対的に利益率の高い障がい者雇用支援サービスの売上が増加したこと、及びロジスティクスアウトソーシングサービスの売上総利益率が生産性の向上等により改善したため、当セグメントの利益率が大きく改善しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は941,311千円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は90,139千円（前年同四半期比116.9%増）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、主力のコールセンター業務及び携帯電話販売業務の引き合いがともに好調に推移しました。採用市場は逼迫しておりますが、採用拠点の増加等の採用力強化によって、ほぼ前年同四半期並みの売上を確保しました。しかし、競合他社との競争が激しいクレジットカード開拓業務の売上が伸び悩んだほか、派遣法改正の影響から物流企業向けの人材派遣を一部手控えたこともあって、セグメント合計では売上が減少しました。

損益面においては、受注単価が比較的安定的に推移し、売上総利益率は改善しました。しかし、採用拠点増加に伴う人員増加や将来の業務拡大に備えた営業及び管理人員の積極採用、逼迫する採用市場への対応等により、人件費やスタッフ募集費用を中心に販売費及び一般管理費が増加しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,727,117千円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益は144,907千円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

平成25年11月期 第2四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高 (単位：千円)	平成24年11月期 第2四半期	平成25年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	2,607,873	2,668,428	2.3%
ビジネスソリューション事業	861,014	941,311	9.3%
人材ソリューション事業	1,746,859	1,727,117	△1.1%
その他	8,287	—	—%
調整額	△64,617	△67,759	—%
合計	2,551,544	2,600,669	1.9%

営業利益 (単位：千円)	平成24年11月期 第2四半期	平成25年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	198,952	235,046	18.1%
ビジネスソリューション事業	41,564	90,139	116.9%
人材ソリューション事業	157,387	144,907	△7.9%
その他	△3,062	—	—%
調整額	△171,963	△175,358	—%
合計	23,927	59,687	149.5%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から82,856千円増加(6.4%増)し、1,374,267千円となりました。当第2四半期連結累計期間においては、現金及び預金増加等により流動資産が21,165千円増加しました。また、農園施設の増設や拠点開設に伴う有形固定資産の取得、敷金及び保証金の差し入れ等により固定資産が61,690千円増加しております。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から38,123千円増加(3.3%増)し、1,186,507千円となりました。当第2四半期連結累計期間においては、未払給与の増加によって流動負債が45,431千円増加しました。一方、社債の償還等により固定負債は7,308千円減少しております。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から44,732千円増加(31.3%増)し、187,759千円となりました。これは、主に四半期純利益44,129千円を計上したためであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は34,861千円増加し、594,590千円となりました。各活動によるキャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比150,257千円増加の85,678千円の収入(前年同四半期は64,578千円の支出)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比較して37,699千円増加し52,890千円であったことに加え、賞与引当金が31,049千円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、37,887千円の支出(前年同四半期は13,421千円の収入)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出31,465千円、敷金及び保証金の差入による支出12,612千円、定期預金の払戻による収入19,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、12,930千円の支出(前年同四半期は160,683千円の収入)となりました。収入及び支出の内訳は、短期借入金の減少16,802千円、長期借入れによる収入50,000千円、長期借入金の返済による支出26,128千円、社債の定期償還による支出20,000千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の売上予想につきましては、上半期は概ね計画通りに推移し、下半期も期初事業方針を粛々と実行していくことから、前回発表の予想水準になるものと判断しております。

通期の利益予想につきましては、第3四半期以降、事業のさらなる拡大に向けた投資を計画しており、前述の発送代行サービスの第2センターを開設するほか、障がい者雇用支援サービスにつきましても、新農園や就労移行支援施設の整備を計画前倒しで進め、また、人員増強も行う予定であることから、前回発表の業績予想を据え置くことといたしました。

従いまして、平成25年1月10日に公表いたしました平成25年11月期の通期連結業績予想について、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	578,728	594,590
受取手形及び売掛金	524,359	525,745
商品	2,925	6,095
仕掛品	3,297	181
その他	83,113	88,629
貸倒引当金	△7,991	△9,643
流動資産合計	1,184,432	1,205,598
固定資産		
有形固定資産	29,135	73,927
無形固定資産	6,087	10,889
投資その他の資産		
その他	101,034	112,887
貸倒引当金	△29,278	△29,035
投資その他の資産合計	71,756	83,852
固定資産合計	106,978	168,669
資産合計	1,291,411	1,374,267
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,283	57,015
短期借入金	483,400	466,598
1年内返済予定の長期借入金	40,000	53,976
1年内償還予定の社債	42,796	40,000
未払法人税等	11,631	14,468
未払費用	212,339	246,309
賞与引当金	6,117	37,167
その他	164,057	170,522
流動負債合計	1,040,626	1,086,057
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	87,758	100,450
固定負債合計	107,758	100,450
負債合計	1,148,384	1,186,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	△7,455	36,673
株主資本合計	142,544	186,673
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	602
その他の包括利益累計額合計	—	602
新株予約権	482	482
純資産合計	143,027	187,759
負債純資産合計	1,291,411	1,374,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	2,551,544	2,600,669
売上原価	1,964,990	1,916,942
売上総利益	586,553	683,727
販売費及び一般管理費	562,626	624,039
営業利益	23,927	59,687
営業外収益		
受取利息	64	109
持分法による投資利益	561	976
法人税等還付加算金	—	283
その他	57	76
営業外収益合計	682	1,446
営業外費用		
支払利息	5,420	6,999
社債利息	948	543
その他	700	702
営業外費用合計	7,069	8,244
経常利益	17,540	52,890
特別損失		
固定資産除却損	2,350	—
特別損失合計	2,350	—
税金等調整前四半期純利益	15,190	52,890
法人税、住民税及び事業税	8,738	11,167
法人税等調整額	834	△2,406
法人税等合計	9,572	8,760
少数株主損益調整前四半期純利益	5,617	44,129
四半期純利益	5,617	44,129

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,617	44,129
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	—	602
その他の包括利益合計	—	602
四半期包括利益	5,617	44,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,617	44,732
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,190	52,890
減価償却費	5,354	6,948
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,795	1,408
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,836	31,049
受取利息及び受取配当金	△64	△109
支払利息及び社債利息	6,369	7,542
持分法による投資損益 (△は益)	△561	△976
固定資産除却損	2,350	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△25,376	△1,386
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△779	△54
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,706	△23,268
未払費用の増減額 (△は減少)	△14,766	34,007
その他	△18,530	△16,238
小計	△22,888	91,813
利息及び配当金の受取額	64	109
利息の支払額	△6,941	△7,758
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△34,812	1,514
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64,578	85,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,371	△31,465
無形固定資産の取得による支出	—	△6,250
定期預金の払戻による収入	20,000	19,000
関係会社株式の取得による支出	—	△2,028
敷金及び保証金の差入による支出	△3,359	△12,612
敷金及び保証金の回収による収入	2,152	4,004
貸付けによる支出	—	△8,680
貸付金の回収による収入	—	144
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,421	△37,887
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	82,980	△16,802
長期借入れによる収入	100,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△2,778	△26,128
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
その他	481	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	160,683	△12,930
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	109,526	34,861
現金及び現金同等物の期首残高	408,997	559,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	518,524	594,590

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネスソ リューション 事業	人材ソリュ ーション事 業	計			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	848,276	1,694,980	2,543,256	8,287	—	2,551,544
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,738	51,878	64,617	—	△64,617	—
計	861,014	1,746,859	2,607,873	8,287	△64,617	2,551,544
セグメント利益又は損失 (△)	41,564	157,387	198,952	△3,062	△171,963	23,927

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。
2. セグメント利益の調整額△171,963千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,390千円及びセグメント間取引消去427千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソ リューション 事業	人材ソリュ ーション事 業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	933,390	1,667,278	2,600,669	—	2,600,669
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,921	59,838	67,759	△67,759	—
計	941,311	1,727,117	2,668,428	△67,759	2,600,669
セグメント利益	90,139	144,907	235,046	△175,358	59,687

- (注) 1. セグメント利益の調整額△175,358千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△176,531千円及びセグメント間取引消去1,172千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 前連結会計年度において「その他」の区分に含めていたモバイル・マーケティング事業は、前連結会計年度中にその事業を廃止しております。